

広岡 宥樹 議員

非正規雇用労働者、特に派遣労働者の実態把握と状況改善に努力を

Q 問 袋井市在住者で非正規雇用労働者と派遣労働者の数と平均年収額はどれだけか。

A 答 非正規雇用者数は、17年国勢調査の臨時雇用者数で4,961人、平均年収額は、調査項目がなかったため把握していない。派遣労働者等の18年度分の状況は、派遣労働者数が全国は約321万人、静岡県は約8万2,000人で市町村別の集計はされていない。派遣労働者の8時間換算当たりの全国平均賃金は、一般労働者派遣事業は1万571円、特定労働者派遣事業は1万4,156円である。

病院問題にどう取り組むか

Q 問 現市民病院の近未来像に基づく人的数値目標と統合協議に臨む基本姿勢はどうか。

A 答 常勤医師は現状の38人、看護師は180人程度確保しなければならない。統合協議の基本姿勢としては、建設場所の選定は、両市民にとって不都合でない、利用しやすい場所を第一に考えることが大切。

Q 問 仮に統合するとした場合、現市民病院の位置づけをどう考えているか。

A 答 総合内科的なものを中心とした医療機能を継続すべきではないかとの判断もあるため、新病院建設協議の進捗とあわせて検討していきたい。



第3回掛川市・袋井市新病院建設協議会

廣岡 英一 議員

新市建設計画の主要事業は早期に実施すべき

Q 問 主要事業は、新市の発展に不可欠な事業であったはず。先延ばしされている事業があるが、理由と進み具合の一覧化を求める。

A 答 各主要事業を進める中で、市民ニーズや状況が変化してきているため、前・後期の10カ年計画をいま一度見直して事業の位置づけをしていきたい。また、事業の緊急度、重要度等を考慮しながら見直して事業の一覧化をし、示したい。

浅羽海岸を潤いと活力ある浜辺空間に

Q 問 浅羽海岸の保全・活用には、福田漁港整備と一体化させた土地利用を行うべき。磐田市や県との強い連携を望むがどうか。

A 答 磐田市と連携し、海岸管理者の県に対し、海岸線に沿って福田漁港に通じる道路

の新設や海岸部への駐車場の整備を強く働きかけたい。

Q 問 サンドバイパス稼働後の浅羽海岸。養浜効果を生かす策を考えるべきではないか。

A 答 自然環境の保全に努めるとともに、整備が進む福田漁港のイベント交流広場との一体的な活用方法や効果的な情報発信について、磐田市と協議を行う必要がある。ふれあい福田漁港建設促進協議会を通じて検討することも必要と考える。



海岸浸食と台風で堤防が崩れた浅羽海岸(昨年9月撮影)